

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

現在、八千代医療センター消化器内科および内視鏡科では、倉敷中央病院 病院病理科と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【共同研究課題名】 自己免疫性膵炎の acinar-ductal metaplasia と膵管癌の鑑別における免疫染色の有用性の検討

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

研究代表機関・研究代表者：公益財団法人大原記念倉敷中央病院 病理診断科 能登原 憲司
本研究に関する問い合わせ先：公益財団法人大原記念倉敷中央病院 病理診断科 能登原 憲司
電話：086-422-0210（応対可能時間：平日9 時～16 時）

【利用・提供の対象となる方】

2010年1月～2017年12月までの間に、当院消化器内科において超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)の検査を受けた膵疾患の方 超音波内視鏡下穿刺吸引法とは、胃や十二指腸などの消化管から超音波内視鏡で膵臓の腫瘍を観察し消化管から針を刺して組織を採取する方法です。

【利用・提供している診療情報等の項目】

残余検体：生検組織（病理組織標本、病理標本ブロック）
診療情報等：診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、ステロイド治療の有無と効果、EUS-FNA検査で用いた生検針・生検回数 等

【利用・提供の目的】（遺伝子解析研究： 無 ）

1型自己免疫性膵炎のacinar-ductal metaplasia と膵管癌を鑑別するために有用なマーカーを解明する

【主な共同研究機関及び研究責任者】

1. 東邦区大学大学院医学系研究科 消化器病態分野・教授 正宗 淳
2. 九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態講座 顎顔面腫瘍制御額分野・教授 中村 誠司
3. 横浜市立大学附属病院 内視鏡センター・教授 窪田 賢輔

【研究実施期間および主な提供方法】

期間：倫理審査委員会承認後より2028年3月までの間（予定）
提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □ その他

【この研究での診療情報等の取扱い】

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、どなたのものなのかわからないように安全管理措置（匿名化）をしたうえで取り扱っています。

【東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：八千代医療センター内視鏡科 教授 西野隆義
研究内容の問い合わせ担当者：八千代医療センター 内視鏡科 西野隆義
電話：047-450-6000（応対可能時間：平日9 時～16 時）